

スズキの歴史・・・織機から、軽自動車とインドへ

横＝年代／縦＝4つの流れ。国内の軽と、インドという別の柱が同時に動いてきたことが見えます。

● 会社のできごと ● 危機と転換 ● 世界へ ● 技術

	～1920s 創業期	1930s 戦前	1940s 戦中戦後	1950s 再建	1960s 大衆化	1970s 規制	1980s 世界へ	1990s 転機	2000s 再編	2010s 立て直し	2020s 電動化
会社のできごと 組織・体制	1909 鈴木式織機製作所を創業 浜松 1920 会社として設立			1954 鈴木自動車工業に改称 二輪から四輪へ			1981 GMと提携	1990 社名をスズキ株式会社に	2009 VWと提携 のち解消	2015 VWとの提携を解消 2019 トヨタと資本提携	2021 長く率いた会長が退く ⌚
危機と転換 小さな会社の正念場			1940s 織機の需要が消える 戦時下で事業の転換を迫られる			1970s 排ガス規制 小さな会社には重い負担				2016 燃費測定の手続きの不備を公表	2020s インドへの依存という指摘 ⌚
世界へ 二輪・インド・欧州					1962 マン島TTで優勝 二輪で世界へ		1982 インドで合弁生産を開始 誰も本気にしなかった市場	1990s インドで最大手に	2000s 欧州でも生産	2010s 世界販売の多くが海外	2020s インドでEVへ ⌚
技術 作ったもの				1952 パワーフリー号 自転車用の補助エンジン 1955 スズライト 量産軽乗用車の先駆け	1961 キャリイ 1967 フロンテ	1970 ジムニー 軽の本格四駆 1979 アルト 価格の常識を変える	1983 カルタス	1993 ワゴンR 軽の形そのものを変えた	2000 スイフト 世界で売る小型車	2014 ハスラー 遊べる軽	2020s 軽の電動化を検討 ⌚

🏆 いちばん大きな賭け

1982年のインド進出。誰も本気にしなかった市場に入り、そこで最大級のメーカーになりました。国内で見えている姿は、この会社の半分でしかありません。

💡 ここだけ押さえる

1993年のワゴンR。背を高くして室内を広げるという発想が、いま街を走る軽の形をすべて決めました。今日の当たり前は、誰かが最初にやったことです。

⚠️ 影の部分も見る

2016年に燃費測定の手続きの不備を公表しました。安さと効率を追う会社だからこそ、手順の管理が問われた出来事です。